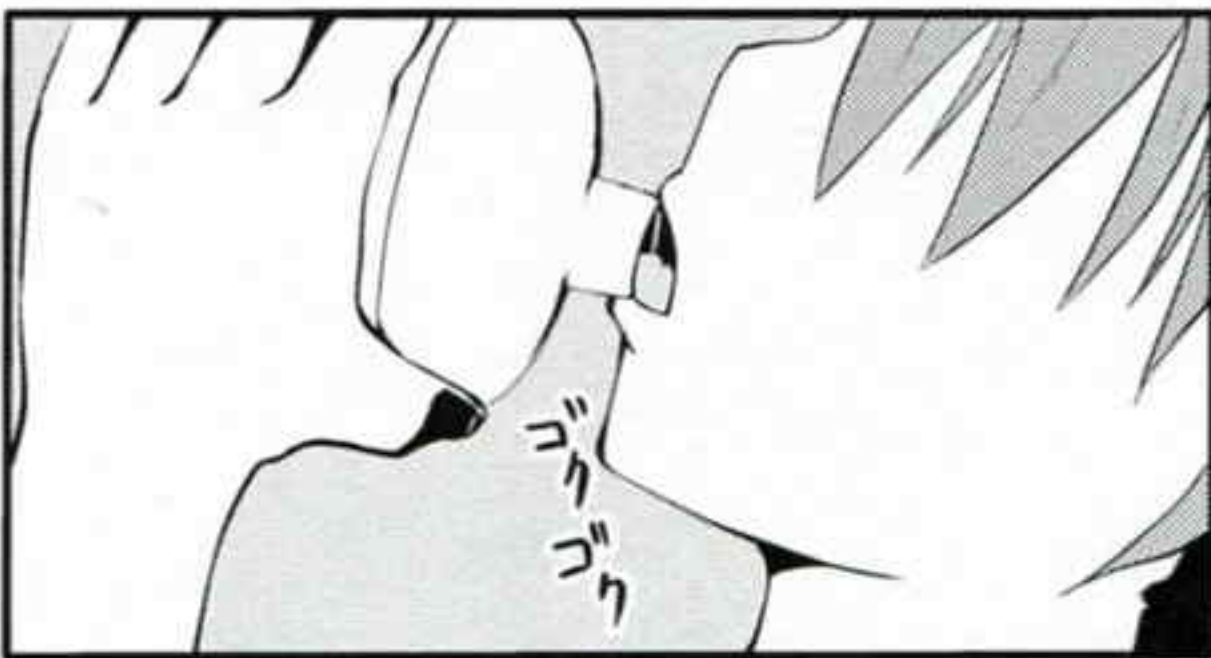




新鮮マグロ

成人向け

産地直送マグロ団



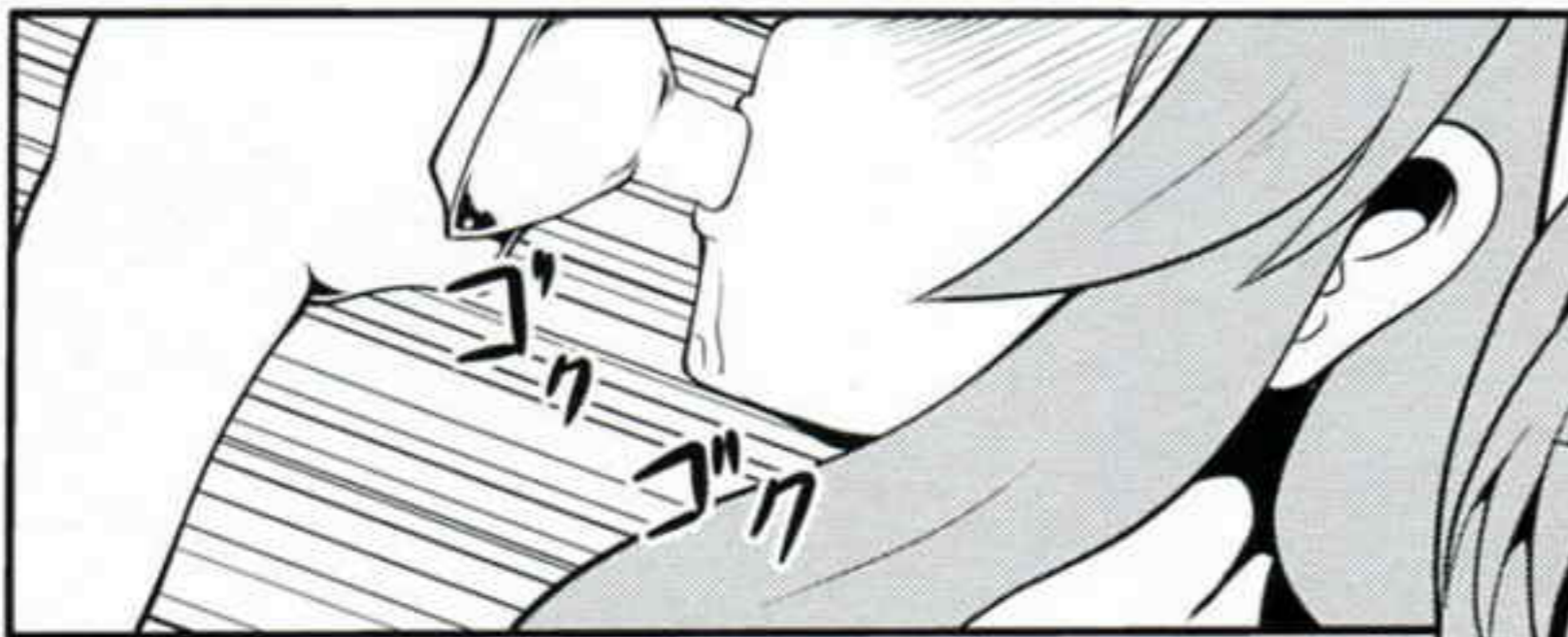


え?



オオオオオオ

あれ?  
誰もない?  
のかない?



ゴク  
ゴク



あつ...  
あんた...  
すんのよ!!



あれ?

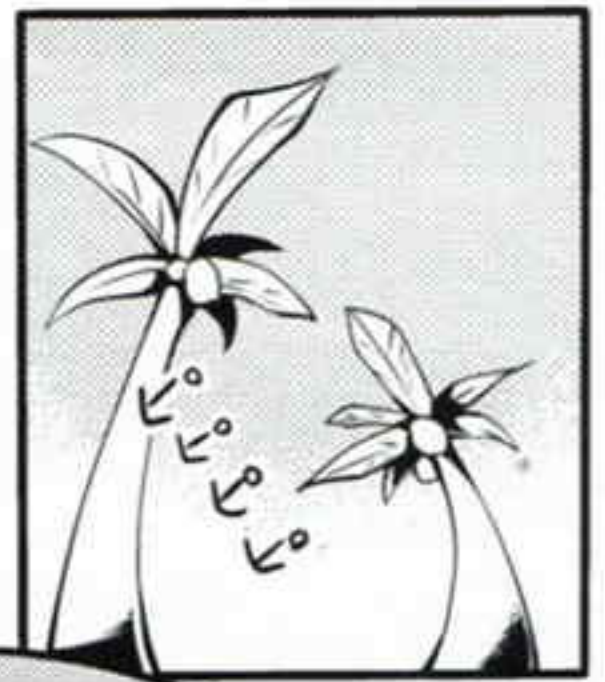


きゃッ!!

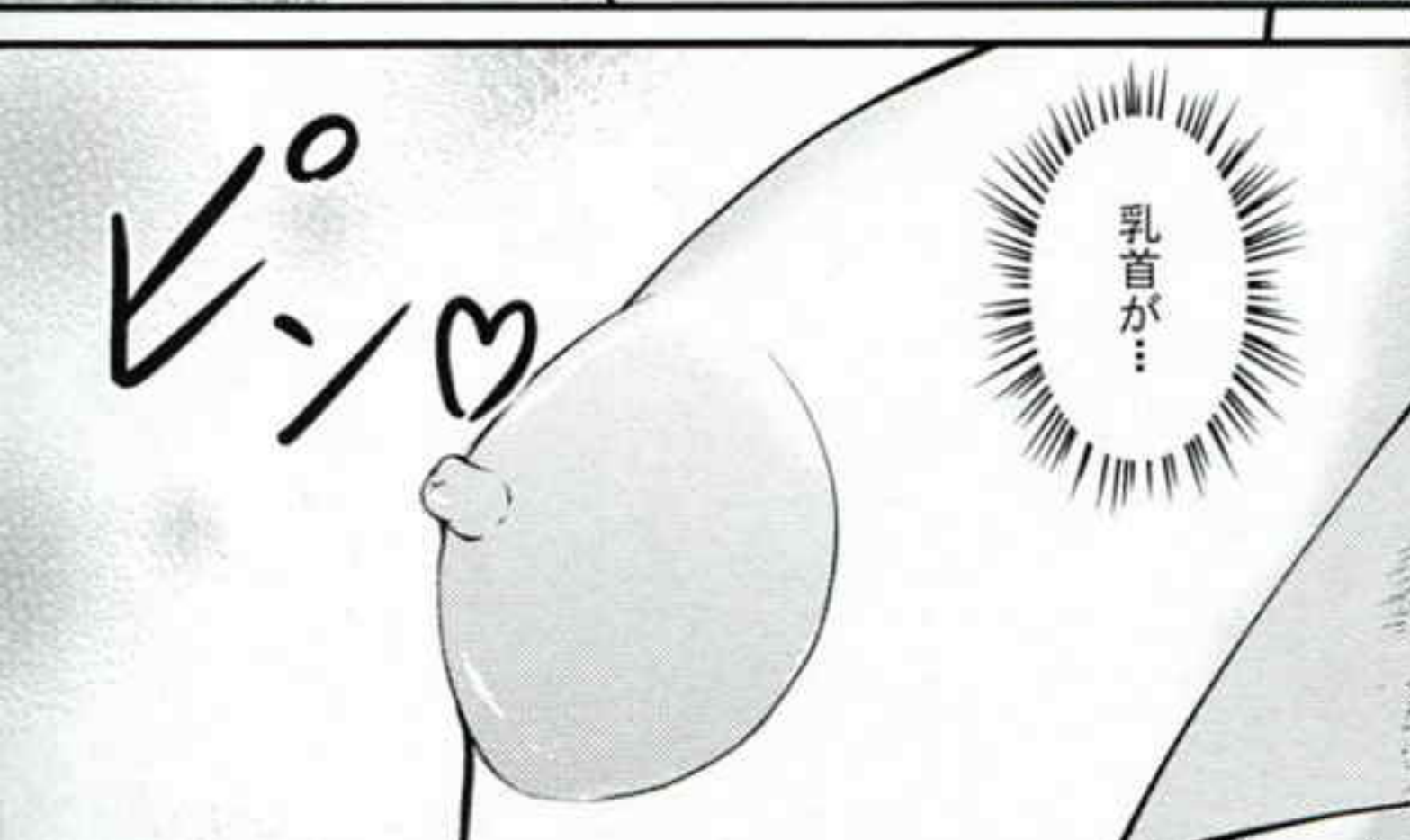
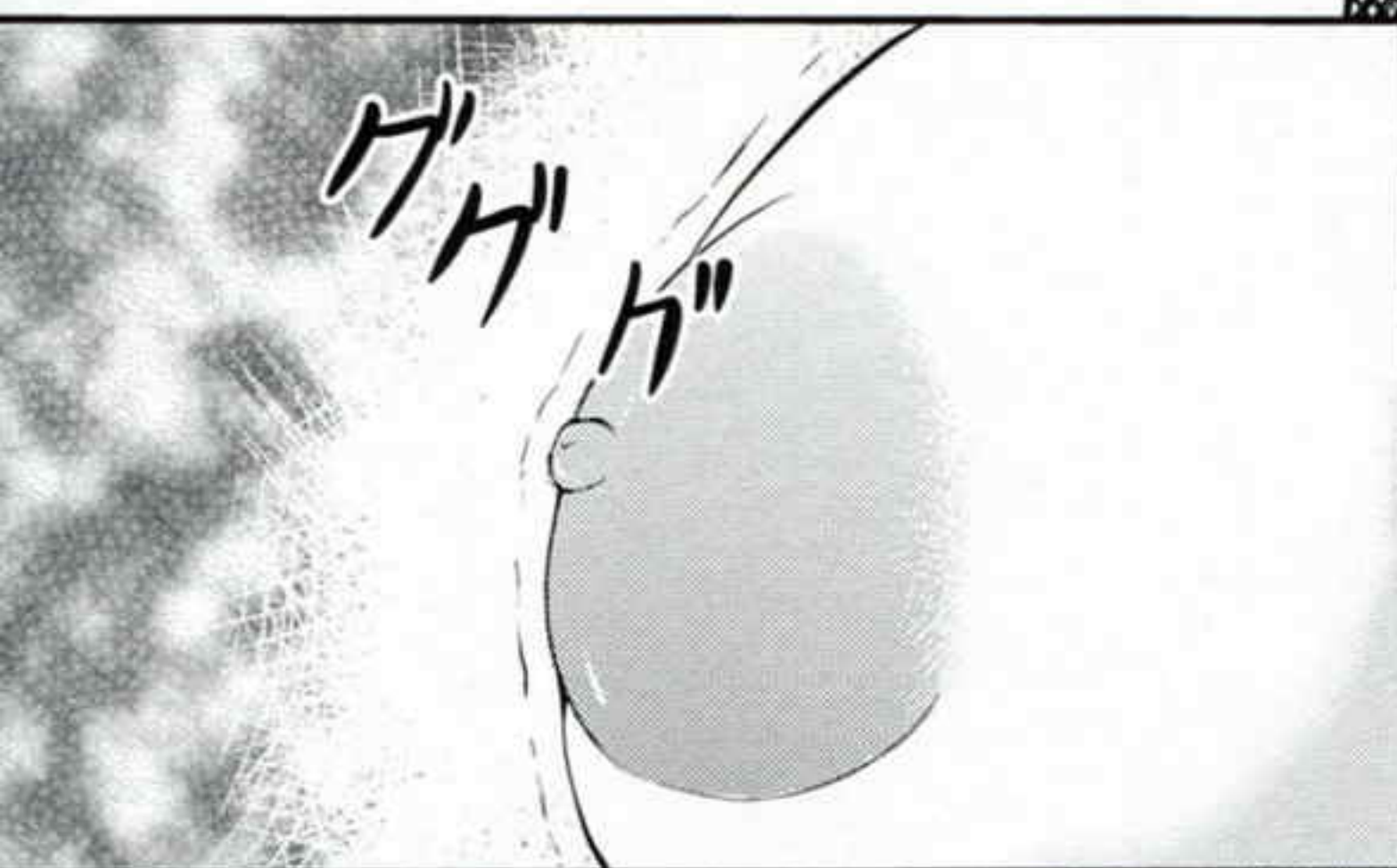
えっ...何!?  
か...風間なの?

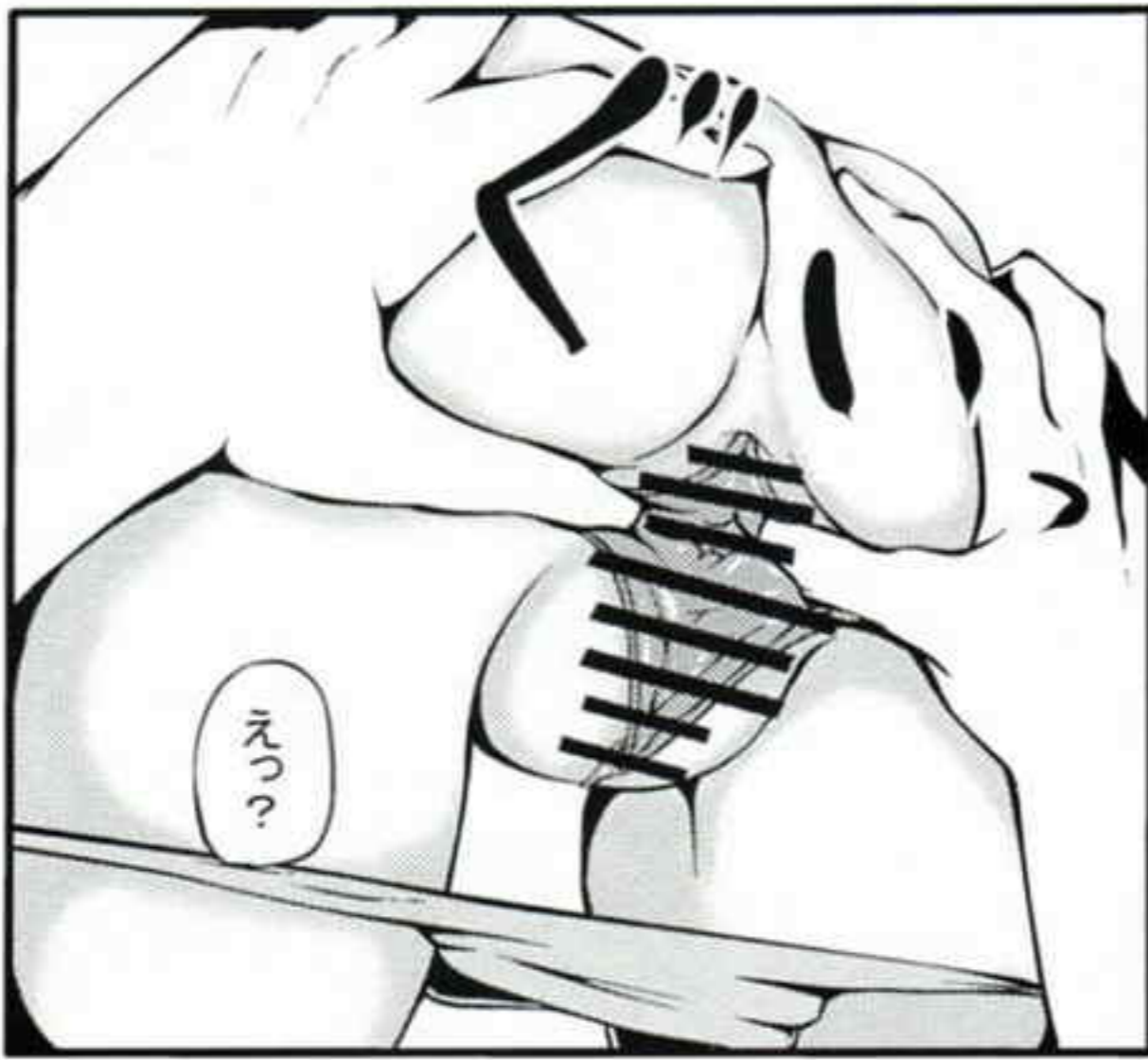


クワッ









あああああ...

力が...  
抜けちゃう...

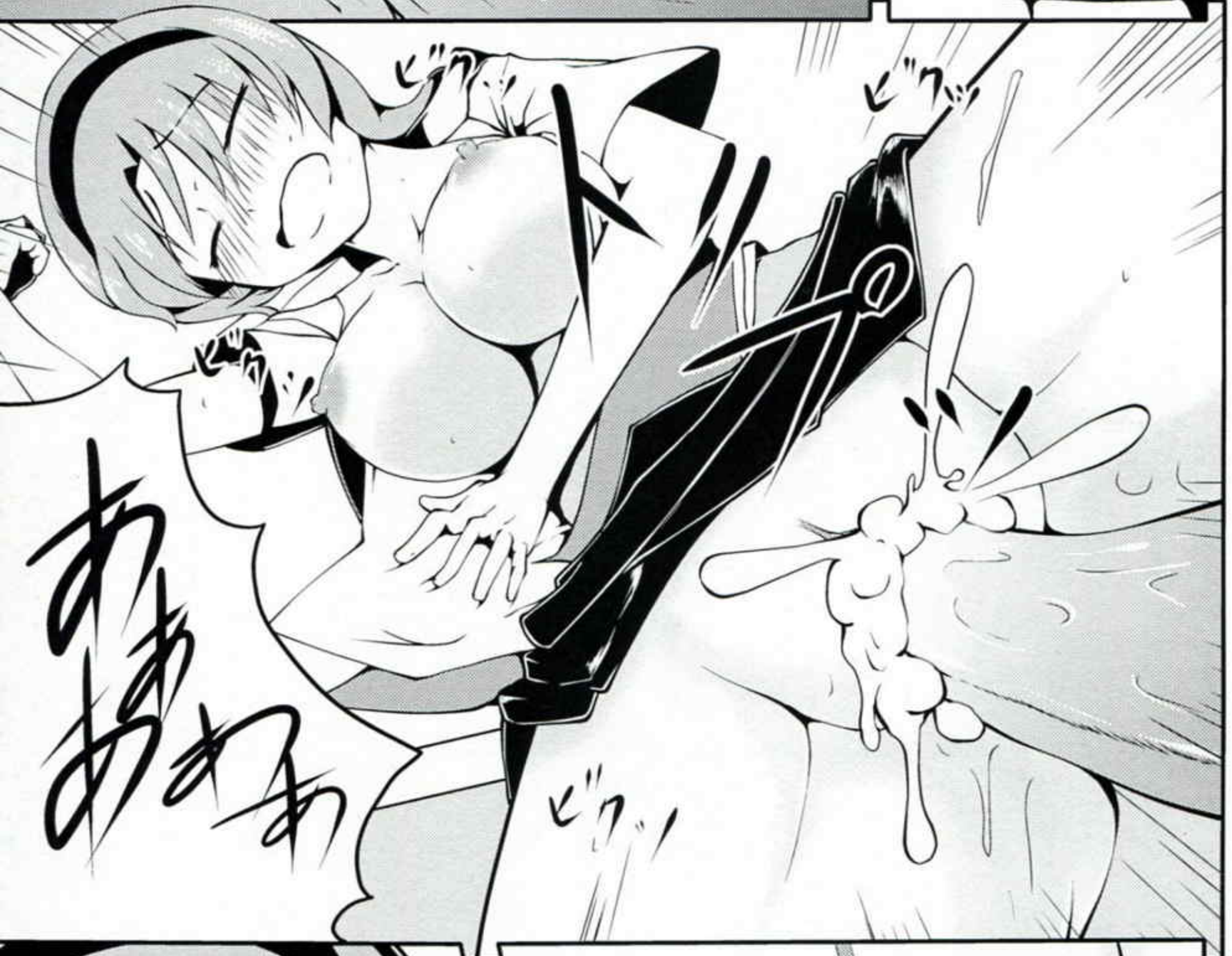














それにしても  
この水なんなん  
だろう…

最強？

飲んだ瞬間  
すごく体が  
熱くなって…



あつ…  
ちよ風間  
少し休ま  
せて…



あれ？  
フタが開  
いてる？

ん？



ガラガラ

いやー  
大事な水を  
忘れちゃったよ



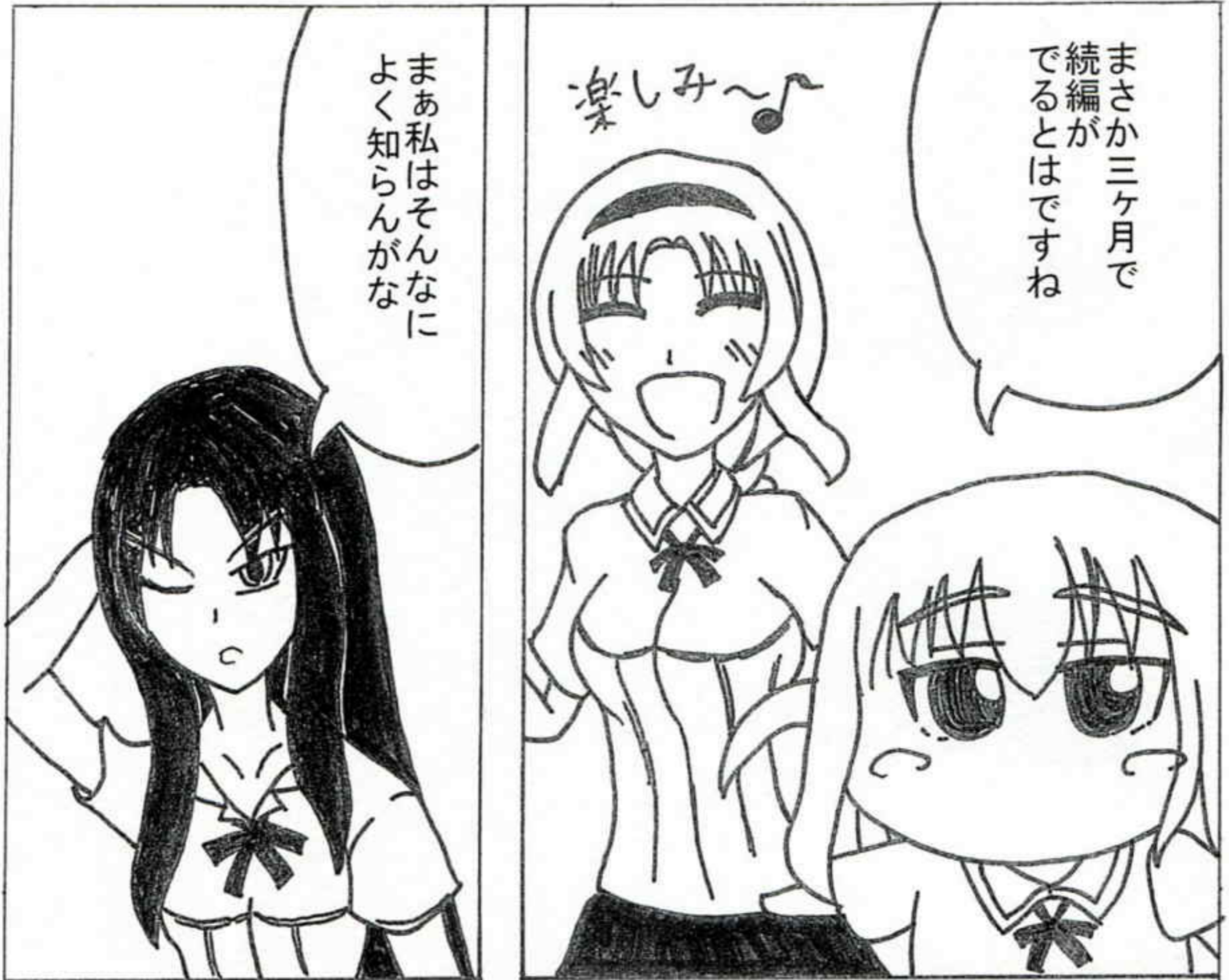
「…」の液体は…!!

なぞの白い液体の正体とは  
次回へ続く…かも…



これは…？

ミドロ



なんで全員で  
マソーン買いに  
来てんだよ!!!

おむい……

そしてなんで  
俺縛られてんの？

アレ!? 風間さん  
マソーンの  
コスプレは？

2度としねーよ!!

先輩そんなに  
ゲーム製作部に  
なじもうと…

違ーよ!!  
あとこの縄ほどけよ

フアイヤー  
アチャーツ!!

なんだ?  
このオッサン!?

風間さん:  
いくらなんでも  
ひどいですよ

ああ!?!  
なんでだよ?

一緒にフアイヤーアチャー  
した仲じゃないですか

!?!  
あのオッサン!?

大分おちこんで  
ますよ

貸してもらったのに  
スイマセンでした!!

イヤコノ前ノ子ト  
ナカヨケレバ  
大丈夫サ!!

このオッサン  
なに調子のもってんの!!

オレもさ!!

私もね!!

オッサン増えた!?





ソナナコトヨリ  
風間サン  
ソノカツコウハ...

こっこれは...

王妃アシャーンの  
コスプレですね

変な誤解された!!



そうです!!  
ピンチ姫こと  
アシャーンです!!

変なウソつくなよ!!

まったくバカなこと  
してる間に

列が動きだしたぞ



そういえば私  
予約してないんですよ  
高尾さんは?

えっ!? 私も  
貸してもらおうと

お前ら!?

私たちは初めから  
してないですよ

帰るのか  
ますか  
ましよう

せめて縄ほどけよ!!

「魔導村シリーズ」

プロローグ

1987年に初代魔導村が出てから、今日まで続編が数作品発売され続ける日本を代表する魔法アクションゲームである。

?? 「遂に手に入れたわ」

王宮魔術師マソーンがなぜかいつも魔王に捕まる王妃アシャーンを助けに行くシンプルなストーリーと、イライラつとくる難易度と10年くらい前からあまり変わぬクオリティに昔からのファン……レトロマニアなどに根強い人気がある。

「アクション？RPG？いえ、ノベルゲー！魔導村

「エンドーガよ永遠なれ」

前作にあたる「フンフンフン♪……ん？魔導村！？」では初代を手掛けたスタッフが再結集し、前々作までのドット絵を一新。最先端CGを駆使したグラフィックで世間に多大な衝撃を与えた。

?? 「まさかノベルゲーになるとは思ってたけど、前作から引き続き初代スタッフを軸に作られ、今度こそ名作になると専らの噂」

?? 「おい！おいつて……」

?? 「バーチャルツポイ限定特典のマソーンが乗るイルカのエンドーガ昇天携帯ストラップも手に入れたし」

?? 「おーい？」

?? 「今回はストーリー部分に新たなライターを起用してドラマチックに仕上がったって話だし」

しかし、その影で「こんなの魔導村じゃない！」「俺たちのマソーンを返せ！」などと批判も集まり、図らずも巷の話題に登る問題作となる。

魔導村シリーズ最新作への期待は日に日に高まり続け

?? 「……聞いてないな」

ていた……。

?? 「さあ、レッツパーティーよ！」

世は乱世。恐るべき身体能力と性欲を合わせ持つ魔王  
 (名称不明) による連続王妃誘拐事件が発生していた。  
 非常事態宣言を発令した各国首脳はサミットの開催を  
 決断。

サミット開催の地・魔導村には全世界から王妃奪回の命  
 を受けた強者が集結しつつあった。

そして、その中には一人の老魔術師の姿が……。

～OPムービー～

(幼い日のアシャー)

(壮年期のマゾン)

(天蓋付きのベッドで穏やかに眠るアシャー)

(鼻息を荒くするマゾン)

(物陰から見ている侍従)

(ルパンダイブを敢行するマゾン)

(振り抜かれる10tハンマー)

(夜空の星になるマゾン)

(グッbてするアシャー)

(美しく育ったアシャー)

(還暦を迎えたマゾン)

(天蓋付きのベッドで穏やかに眠るアシャー)

(忍び寄る影)

(魔王降臨)

(立ちふさがるエンドーガ)

(天蓋なしのベッドで穏やかに眠るマゾン)

(血まみれのエンドーガ)

(脇にアシャーを抱え空に舞い上がる魔王)

(必死に魔王の足へ喰らい付くエンドーガ)

(鼻提灯を膨らますマゾン)

(エンドーガの首筋へ振り下ろされる魔王の手刀)

(頭部と胴体が切り離されていくエンドーガ)

(寝返りをうち、ベッドから転落するマゾン)

(断末魔をあげるエンドーガ)

(セピア色に変わっていく景色。フェードアウト……)

会議の焦点は王妃救出隊の人選に多くの時間が割かれた。救出隊隊長の任に白羽の矢が立ったのは王妃救出回数歴代トップタイ、現役最多を誇るマソーンであったが、その選出に異議を唱える声も多く、一時会議場内は騒然となった。

不安視されたのはその高齢故の衰え、並びに数多くの死線を共に乗り越えた相棒エンドーガの死である。

事実マソーンの隊長就任へ最も強硬に反対する名も無き魔術師との模擬試合にマソーンは為す術もなく敗退。

得意魔法のファイヤーアチャーとコールドツメチャーを反射魔法によって弾き返されると、あとは一方的に攻撃を受け、風属性魔法によってローブをパアンと八つ裂きにされ「わくお」と口にするのがやつとという無残なものであった。

しかしマソーンの魔王城の構造を完璧に把握しているという点は得難く、半ば済し崩的に先遣隊隊長の任を与えられることとなった。

マソーンの処遇について一段落したところで、会議は本題の救出隊の再選考へ入ろうとしていた。が、マソーンはこれを辞去。先遣隊の命を全うすると呟き、一足早く魔王城への旅へと向かった。

残された者たちの胸中は、「さすがマソーン。歴戦の勇者の心は既に戦地へと向かっている」との意見が約一割。「厄介払いが出来た」との意見が約三割。「興味がない」との意見が過半数を超えるという惨憺たるものだった。

しかしてマソーンの胸中は穏やかではなかった。正に名も無き魔術師であった何某に完敗を喫するほどに自らが衰えているとは予想だにできなかった。

思えば今までの王妃救出も魔王の不在を狙ったり、魔王城の外壁をよじ登ったり、すっかり寝静まった深夜を狙ったりと隙を突いた作戦によるものばかり。魔王を打倒する力を持たぬ故、やむを得ない手段と思っていたが、それが魔王の王妃誘拐を根絶し得なかった理由なのもまた事実。今回こそは魔王を倒す。そう心に誓おうかとも思ったが、まずは新しいローブを用意する為、マソーンは服屋へと歩を進めた。

### III

魔王の性欲は臨界を迎えようとしていた。

各国の王妃を閨へと並べ、口からは涎を滴らせている。

中にはもう5、6回は攫った顔も見えるが、既に頭と怒張に血が、又は海綿体が登り正常な判断がつかない。

王妃フェチをこじらせた魔王に既に求心力はなく、嘗ては盛隆を極めた魔王軍も現在では瓦解。魔王城に一人、王妃を抱けない夜は自慰行為に耽る日々。

再度言おう。

魔王の性欲は臨界を迎えようとしていた。

魔族の肉棒はデカイ。それだけにデカさに任せた乱暴な

SEXをしてしまいがちだ。

だが、魔王のそれは違った。確かにデカイ。魔族の中でも大きい部類に入るサイズであろう。

しかし、その行為には語弊はあろうが確かに優しさがあつた。理屈を言ってしまうえば、やっとな手に入れたオナホールを壊してしまわない様に大切に扱ったというだけの事。

それでも初めて魔王に攫われた大半の王妃たちを安堵させるには十分であった。何をされるか判ったものではなく、当然殺される可能性すら彼女たちは考えていたのだから。

加えて彼女たちにとっての性行為とは世継ぎを産む為の生殖行為でしかなく、愛した相手とのSEXはおろか、快感を得る為のそれすら未知の領域であった。

果たして、魔王のハーレムは成った。驚く程呆気なく、本人ですらそうとは知らず。

・・・順番が回ってくるのを待ちながら、アシャーンはその蜜壺をしとどに濡らしていた。既に何度も魔王の手籠にされている彼女の肉体は既に魔王の掌中にあつた。

魔王の腰の動きが加速してゆく。

「だっ・・・、射精すぞ！アシ・・・ン！！」

A 膣内に射精す

B 顔に射精す。

C 腹に射精す。↑ピッ

(SCENE MODE COMPLETE!)

右手にファイヤーアチャー。左手にコールドツメチャー。双方の魔法力を均等に調整。両の拳を眼前で合わせる。

スパークを散らす熱エネルギー。必死に抑え込もうとはするが、ほとぼしる魔法力が、おニユーのローブを見るも無残に引き裂いてゆく。

「わくお」

魔王城への道中、マソーンは暇を見つけては新たな魔法の習得に励んでいた。着想には自信がある。以前、王宮の図書館で読んだ古文書にあった勇気の使徒の必殺魔法。だが、古文書の中にはこういう一文もあった。

曰く「センスのない奴には一生できねえ」

胸を過ぎる一抹の不安を余所にマソーンは纏め買いししておいたローブの一着に袖を通した。

魔導村を発った時に7着あったローブは既に残り3着になっていた。マソーンは戦闘民族ではなかったが、老域に達している己が新しい魔法を習得するには自らを極限

にまで追い詰める必要があるということをも本能で理解していた。

崖伝いに山道を行くマソーン。

吹き荒れる谷風と空を覆う暗雲が行く末を暗示しているかの様な気がしなくもない。

グラリ。

強風に煽られる大岩。

轟ッ！！

ズッ！

(遙か頭上の崖から転がり落ちてくる大岩にハツとするマソーン)

避けようとすれば足を滑らせて谷底へ落ちかねない。

咄嗟に紡がれるは幾度もの死線をくぐり抜けた魔法。

「コ・ヲ・ル・ド・ツメチャー！！」

高速で射出される氷柱が寸分変わらず大岩のど真ん中へと命中する。粉碎された大岩だった石塊が谷底へと吸い込まれていく。

刹那。

(ま、全く同じ軌道で二つめ！)

しかしマソーンは慌てない。得意魔法は一つではない！  
刮目せよ！

「ファイヤーアチャー!!!」

地獄から召喚した業火が降り注ぐ大岩を瞬く間に溶かしていく。

刹那。

(ま、全く同じ軌道で三つめ！)

脳の演算機能をフル回転させる。詠唱の時間はない。避けるという選択肢もない。為す術がない。

迫り来る死。死。死。

・・・最後の選択が最期の選択とならなかったのは、マソーンの経験か閃きか、それとも胸に秘めた一片の勇気か。両の拳を眼前で合わせる。両手に僅かに残る熱エネルギーを融合、収束。

・・・開帳!!!

「メ・ド・ロ・ヲ・アアチャー!!!」

光の、矢が走った。すぐそこまで迫っていた大岩は跡形もなく消し飛び、矢は空を裂き、暗雲を突き抜けた。

雲の切れ間から降り注ぐ陽光の中、マソーンは微かに、だがしっかりと手を握り締めた。

やっと掴んだ手応えを忘れない様に。

しかし、それだけでは飽き足らず。マソーンは小躍りを始めた。

(CG MODE COMPLETE!)

小一時間も小躍りを続けるマソーン。その顔は涙と汗水と涎でグシャグシャになっている。

時折、休憩を挟みながらも延々と繰り返される小躍り。しかし誰が彼を責められよう。老体にムチを打ち、王妃救出隊からは除外され、たった一人先遣隊として魔王城への旅路を急いだ。寂しさと心細さから枕を濡らした夜は片手では数え足りない。

(おめでとう。マソーン)

声が聴こえた気がした。隣でいつも励ましてくれていた相棒の声が。

メドロアアチャーの余波で殆ど残っていないロープの裾で顔を拭う。手段は手にした。あとは目的。

忘我のひと時を終え、マソーンは新たな一步を力強く踏み出し、そして足を滑らせ、谷底へと落ちていった。

「わーお」





# あとがき

トトロと申します。  
お手にとって頂きありがとうございます。

高尾部長のおっぱいを描きました。  
でも気がついたら高尾部長のお尻も描いてました。

つまり高尾部長はKawaiiってことですね。

どうも！毎度同じみとは言い難い尾カマです！

今回は私の好きなディーふらぐ！ってことで、テンション上げて描いたんですが  
予想外に難産でこいつあやばいぜい！となかなかしんどかったです。  
(マソーン覚えてる人がどんだけいるか心配ですが…)

まあ大したことない漫画ですが少しでもクスツとして頂けると幸いです。  
さあ一緒に…ファイヤーアチャー！！

はじめまして。お久しぶりです。  
マグロ団の小説担当・赤目玉です。

今回は「ディーふらぐ！」本です。  
芦花可愛いですね。  
ヒロインカで高尾部長に遅れをとってる感がありますが、  
近年稀に見るマスコットカだと思います。  
愛でたいですね。ペロペロしたいですね。

それでは、次回COMIC1(当落不明)でお会いしましょうノシ

■奥付  
「タカオサンダー」  
発行:産地直送マグロ団  
発行日:2013/1/13 こみつくトレジャー21  
印刷:PICO 様

ブログサイト:  
<http://maguronotudo.cocolog-nifty.com/blog/>

無断での複製、転載することを禁じます。  
(インターネット含む)

special thanks;中落ち

Sanchi chokuso  
産地直送  
マグロ団  
maguro dang!!